

みずほCustomer Desk Report 2022/03/01号(As of 2022/02/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	115.59
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.58	1.1181	129.23	1.3372	0.7178
SYD-NY High	115.80	1.1247	129.80	1.3431	0.7265
SYD-NY Low	114.80	1.1121	128.10	1.3310	0.7152
NY 5:00 PM	114.97	1.1220	128.99	1.3421	0.7265
NY DOW	33,892.60	▲ 166.15	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,751.40	56.77	日本10年債	0.1800	▲3.00bp
S&P	4,373.94	▲ 10.71	米国2年債	1.4353	▲13.24bp
日経平均	26,526.82	50.32	米国5年債	1.7121	▲15.64bp
TOPIX	1,886.93	10.69	米国10年債	1.8208	▲14.88bp
シカゴ日経先物	26,650.00	▲ 340.00	独10年債	0.1565	▲6.40bp
ロンドンFT	7,458.25	▲ 31.21	英10年債	1.4130	▲4.25bp
DAX	14,461.02	▲ 106.21	豪10年債	2.1780	▲5.10bp
ハンセン指数	22,713.02	▲ 54.16	USDJPY 1M Vol	6.95	0.55%
上海総合	3,462.31	10.90	USDJPY 3M Vol	6.81	0.34%
NY金	1,900.70	13.10	USDJPY 6M Vol	7.03	0.25%
WTI	95.72	4.13	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	269.074	4.63	EURJPY 3M Vol	9.43	0.80%
ドルインデックス	96.71	0.09	EURJPY 6M Vol	9.15	0.55%

東京	オセアニア時間流動性が薄い中、ドル円はオープン直後に114.80まで下落したのち反発し、115.80をタッチ。東京時間は115.58レベルでオープンし、終日を通過して115.44-70の小幅レンジでのみ合い相場となり、115.53レベルで海外時間に渡った。 ループルの下落とインフレ率上昇を阻止するため、ロシア中銀は主要政策金利を9.5%から20%に引き上げ、企業に外貨売却を指示とのヘッドラインが出るも、ドル円相場への影響はほとんどみられなかった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は115.53レベルでオープンし、こう着状態が継続。約20銭の幅で横ばいし、115.51レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週末に米国やEUがロシアの一部銀行を国際的な銀行決済ネットワークのSWIFTからの排除することを表明したことからリスクオフムードが再燃する中、海外市場のドル円は流動性の薄い週明けに114.80を付けた後、115.80まで反発するなど荒い値動きを見せた。しかし、東京時間に入ると115.50近辺で膠着状態となり、115.51レベルでNYオープン。朝方は米金利低下の動きを眺めながらの売りが優勢となり、115.20付近まで下落。ロンドンフィクシングにかけて、月末絡みの売り買いが交錯する中、115.42まで戻す場面もあったが、一巡後は再び115円台前半で上値重く推移。その後、一部報道で「ロシアとウクライナが次回交渉ラウンド実施に同意」と伝わるも、リスクオフの円売りには特段繋がらず。午後は米金利低下で売りも継続し、115円を割り込み安値114.87をつける。終盤にかけて米長期金利は1.85%を割り込んでおり、ドル円も戻りが鈍く、結局114.97レベルでクローズ。先週末は1.12台後半でクローズしたユーロドルは、ロシアへの追加経済制裁が嫌気され、オセアニア時間には1.1121をタッチ。東京時間では1.11台後半での底堅い推移となる。その後、ヘッドラインを警戒しながらもじりじりとユーロが買い戻され1.1194レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎじり高推移。明確なユーロ買いの材料は見当たらないが、週明けの下落の反動がでたためか、1.1247まで上昇。しかし、ウクライナ情勢への警戒感が燃る中、その後は1.12台前半まで下押し、結局、1.1220レベルでクローズ。

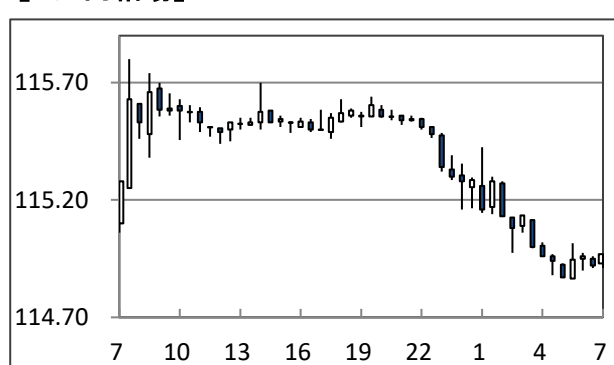
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -1.3%/-0.9%	-0.7%/0.1%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 1.8%	0.3%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 0.8%	1.3%

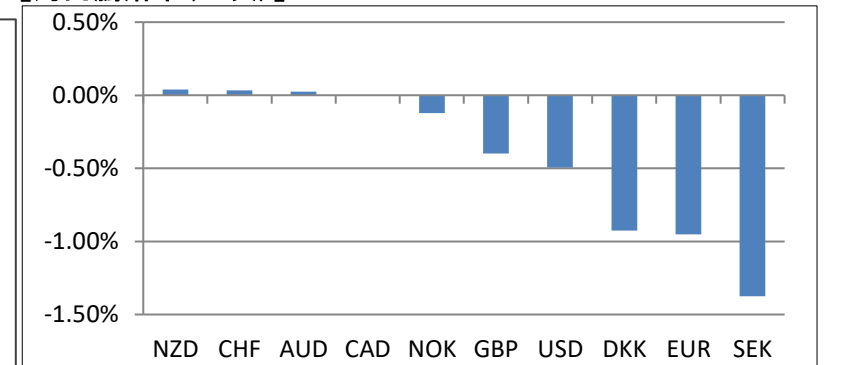
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	10:30	中 製造業PMI	2月 49.8	50.1
	10:30	中 非製造業PMI	2月 50.7	51.1
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	2月 57.5	57.5
3月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月 0.1%	0.2%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 58	57.6
	03:30	英 サンダースBOE委員 講演	-	-
	04:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.40-115.50	1.150-1.1300	128.00-129.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は日本時間午後に予定されていた「ロシアとウクライナの停戦協議」を前に115円半ばでの推移となった。海外時間に入り、米株安や米金利の低下を受けたことによるドル売りが優勢となる中、節目の115円割れ。結局114.97レベルでクローズ。
本日のドル円は上値重い推移を予想。
米国による対ロシア制裁が進む中、流動性確保のための一定のドル買いは考えられる。一方で足元の米金利の低下に伴うドル売り、リスク回避の円買いに伴いドル円の上値は重い。
本日は米2月ISM製造業景況指数の発表があるものの、明日のパウエル議長の議会証言を前にして影響は限定的か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小野崎